

シニアメンバ制度創設とゆった〜り山行の明確化について

来年度には創立時メンバを中心に70歳超のメンバが15名に達することに鑑み、シニアメンバ制度の創設とシニアメンバを中心に運営するゆった〜り山行を充実させることが、世話人会での意見集約が済み(11月総会で報告済み)、来年度から実施することとし、関連規定の制定と2013年度総会での正式承認に向け作業中です。シニアメンバの有資格者は、TTC在籍5年以上で、当該年度中に満70歳以上のメンバ。シニアメンバには遭難対策積立金を免除する。また、山行には行かないと宣言した当該メンバには、山岳保険並びにスポーツ保険加入義務も解除する(会費のみ)。

来年度以降、ゆった〜り山行(提案山行として位置付)はシニアメンバ中心に企画運用して行く。なお、本件に関し、ご意見・ご要望があるかたは、早めに世話人にお寄せ下さい。

山行希望アンケート回答期限を11月末まで延長します

11/17の回答期限日時点で、まだ回答をご提出いただけないメンバが15名いることから、回答期限を11/30まで延長します。来年度年間山行計画を決める大切な基礎資料です。皆様のご理解・ご協力をお願いします。アンケート回答の提出先は(氏名削除)さんです。

新メンバ紹介、皆様よろしく!

12月入会。11/3実施の大山金比羅尾根山行にお試し参加されました。新進気鋭の若手女性ですので、皆様よろしくお願ひします。

(氏名削除)さん: 厚木市森の里在住

48人目の現役メンバです。

山行実施結果報告

★北八しらびそ小屋・ニュー(提案)★★10/27-10/28; 1泊2日、公共交通利用、天候:曇/雨、参加6名。CL、SL、会計/計画:、救護:(スタッフ名削除)。カラマツの紅葉、原生林美、シラビソ小屋の夕べを楽しむ。

★大山金比羅尾根(定例)★★11/3(土)日帰。公共交通利用、天候:曇後晴、参加17名(うちお試し参加3名)。CL/計画:、SL、会計:なし、救護:(スタッフ名削除)。4月雨天中止山行の実施。登りは静かであったが、頂上はあふれるばかりの登山者。

◇大山梅ノ木尾根・ネクタイ尾根(提案)★★☆11/24(土)日帰、公共交通利用。申込:12名(うちゲスト参加1名)。CL/計画:、SL、会計:なし、救護:(スタッフ名削除)。

至近の山行予定

◇丹沢表尾根(提案)★★☆12/1(土)日帰、公共交通/タクシー利用。申込:8名、CL/計画:、SL、会計:、救護:(スタッフ名削除)。

◆九鬼山/河口湖忘年山行(定例)★☆☆12/15-16; 1泊2日。(A)ゆった〜りコース:申込25名、CL、SL、総会計:、救護:(スタッフ名削除)。(B)しっかりコース:申込:6名。総CL/計画:、SL、会計:なし、救護:(スタッフ名削除)。(C)直行:申込3名。12月例会を兼ねての恒例の忘年山行。衆議院選挙投票日と重なりましたので、必ず期日前投票を済ませるか、2日目早めに帰宅して投票してください。

◆越前岳新年山行(定例)★★1/12(土)日帰、マイクロバス利用、申込20名。CL、SL、会計/計画:、救護:(スタッフ名削除)。下山後本厚木で希望者のみで新年会開催予定(新年会のみ参加希望者は大家さんに直接お申込みください)。

花序・翼果(花と実): (a)葉の上にブーム状の翼果、(b)・(c)葉の下に垂れ下がるようブーム状またはU字状翼果を付ける。分布: ヤマモジは福井県以北の日本海側に分布し、ヤマモジ分布域にはイロハモジもオオモジも分布しない。オオモジはヤマモジが分布しない北海道から九州までほぼ全国的に分布。イロハモジは福島県以南の太平洋側に分布。紅葉の発色: イロハモジは極端に日当たりが悪くない限り赤く紅葉。他の2種は黄色、赤、源平(黄・赤・緑の混色)と個体差が大きい。

山の花、野の花

イロハモジ【イロハ紅葉】(カエデ科カエデ属の落葉高木)

我国に自生するモジは(a)イロハモジ、(b)ヤマモジ、(c)オオモジの3種(他に多くの園芸品種)で、見分け方が意外と難しいが以下の4つが手掛かり。**葉**: (a)5-7裂片し、葉の周りに大きなギザギザと細かいギザギザ(重鋸歯)、葉が小さい(3.5-6cm)。(b)7-9に裂片した重鋸歯で葉が大きい(6-8cm)。(c)7裂片で揃った細かい鋸歯、葉身は4.5-8cm。



左からイロハモジ、ヤマモジ、オオモジ



イロハモジの花

12月例会募集山行

◇相模七福神(提案)★

1/26(土)日帰、公共交通利用。

◇入笠山スノーシュートレッ

キング(提案)★2/23(土)日帰、

スタトレスタイヤ装着マイクロバス利用。

安全登山豆知識

モミジ(紅葉)とカエデ(楓)

紅葉の代表であるモミジとカエデの違い、分かりますか?

実はどちらもカエデ科カエデ属で、植物分類学上は同じですが、通常、葉の形状で使い分けています。すなわち、葉の切れ込みが深いものを「○○○モミジ」、葉の切れ込みが浅いものを「○○○カエデ」と呼んでいます。また、我国に自生するモミジはイロハモミジ、ヤマモミジ、オオモミジの3種類で(その他、多数の園芸品種あり)、葉はいずれも深く切れ込んで5~9裂片に分割されているのが特徴で、モミジという名称は我国独特の呼び方です。それに対し、我国には葉が11裂片のハウチワカエデ、浅く7~5裂片のイタヤカエデの仲間、3裂片のウリハカエデ類、楕円形の葉のヒトツバカエデやメグスリノキ等、葉の形状が様々な約28種のカエデが自生しており、カエデの宝庫と言われています。モミジは、葉が黄色や赤に変わることを意味する動詞「もみず」が名詞化して「もみじ」になり、それから転じて、目立って色を変えるカエデの仲間を「モミジ」と呼ぶようになりました(ちなみに東北では「モミジ」を「モミズ」という)。

一方、カエデは葉の形がカエルの手に似ていることから「かえるで」と呼ばれ、のちに「カエデ」に変化したといわれています。したがって、昔は葉が手のように切れ込んだものすべてを「かえるで」と呼びました。そのため、今でも「モミジ」と「カエデ」は同じ意味に使われています。たとえば、「イロハモミジ」のことを「イロハカエデ」とも呼びます。



イロハモミジ



ハウチワカエデ

山に想う

九州5山の山旅

#072 氏名削除

80%個人山行、残り20%をJFE山岳部、TTCで日本100名山達成後(H19年10月)、山への情熱は里山に移り、大山を訓練場とし、男坂~山頂、鶴巻温泉~山頂と体調次第で各週登っており、今後も続けます。TTCでの里山巡りにも参加し、野草・温泉・お酒を楽しませて貰っております。山容の素晴らしさ、山野草での季節の移り変わりが分かる自然の営みが好きで飽きる事知らない。登山は10Kg以上、それ以下はハイキングと教え込まれた私共には、スピード化し走り追いつかれる人に道を譲る気持にもなれません。今亡き岳友に誘われ初めての登山が富士山でした。大自然の素晴らしさに涙が溢れ落ちる感動は今でも忘れません。南、北アルプスはテント持参の縦走です。50代60代だから出来る技かと今は懐かしい思い出です。TTCでは山へ登るための訓練や知識、救急法を学び、山仲間と活動しております。山への思いは九州5山の旅が印象深く、心に刻まれています。全山容が神秘性に富み神々しいのが印象的でした。平成10年12月26日座間市からマイカーで九州の山旅へ出発。第1日目(27日)曇り、阿蘇山々頂ゲート開かず、阿蘇三山(外輪山)のみで後日に廻す。第2日目(28日)晴れ、久住山登山。5時起床、牧ノ戸峠に向う。登山口には数台の車があり朝食中。軽い準備体操後7:15AM出発。舗装された登山道は凍結していて危険。30分過ぎ頃より自然道に入り安心。

歩行と周辺の風景と楽しむ。活火山の星生山と硫黄山は立ち入り禁止の標示あり。西千里浜からの景観素晴らしい。九州を訪れた甲斐が有りとなりガッツポーズし嬉しさを押さえ込む。この喜び有る限り山の旅は続く。特記出会い、75歳長野県の山愛好者と一緒の旅をする。竹の杖、軽装備で、仙人を思わす風貌は山の達人か、憧れますね。100名山すでに完破。今は各都道府県の最高峰を目指しているとのこと。28日移動日。伝説の里宮崎高千穂に入る。地図を頼りに4:20pm五ヶ所村祖母山登山口を発見。夕飯は町で美味しい食事にと勇み足し、後輪を側溝に脱輪する。数台の車が止まり、5人の応援者で無事脱出する。生涯忘れない心の絆に感謝し、その晩は栄養満点の外食と無銭のテントで熟睡。29日(月)晴、祖母山。5時起床、軽い朝食を摂り6:00am五ヶ所村入口、6:40AM北谷登山口に。7:00AM登山開始。長野の75歳の登山者を背中に感じ、ピッチを速める。国観峠に着く頃は身体もほぐれ順調。9合目から若い女性2人と一緒の行動。9:50AM下山開始。長野県の75歳の登山者と出会う。これまでの経過を報告し霧島登山口えびの高原の再会を誓い別れる。11:20AM祖母山登山を解散。女性2人を車に乗せ、日本アルプスの父ウエスタンのリレーフがある三秀台の丘に立つ。女性2人は東京、川崎の山仲間、100名山の旅人なり。神話の里天岩戸に向かう途中。JR高千穂駅で、お互いの山の安全を誓い別れる。明日は阿蘇山との事でした。以上紙面を借り、日記に記載した文を紹介しました。山とは人の出会いの場でもありと、今日久しぶりに誤字誤文の日記を見ました。立てる限り山屋をつづけます。たとえ一人でも。次回は(氏名削除)さんの登場です。

12月例会: 12/16(日)、会場: 忘年山行宿泊先(河口湖温泉「旅館溶岩温泉」); 安全登山教室・世話会; なし、例会のみ開催。